

ととろろ 土都楼便り号外 ~運営懇談会の報告~R6・9・30(日)に開催しました!

運営懇談会とは



有料老人ホームの運営懇談会は、自治体が定める「有料老人ホーム設置運営指導指針」に位置付けられており、施設の職員、入居者や家族などが一同に会し、施設の運営について話し合う場となっています。

土都楼では、運営の透明性を確保する為に年2回実施しています。運営懇談会は、入居者やサービス提供に関する状況等、施設の状況報告の場であり、また、入居者や家族からは、様々な意見や要望を直接施設側に伝える事が出来る大切な場となっています。

今回は、3名の入居者の方、9名のご家族、民生委員さん、後見人の方達が参加して下さいました。

今回は、今までの行事や6階の喫茶室でゆっくり過ごされている様子、お花のお世話の様子を紹介させて頂きました。

栄養科からは、災害時における食糧備蓄品の説明がありました。災害においては、最近の想定外の大雨、又は大地震による津波等ご家族の皆様からの質問で災害時の避難誘導、食料の確保等、質問が相次ぎ、とても心配されている様子が伺えました。

土都楼では、3日分の備蓄を常時確保しています。

- ・入居者40名(普通食、粥食)
- ・スタッフ10名
- ・避難者10名
- 計60人分約540食

今回頂いたアンケートの中にも災害に関するご意見がたくさん書かれていました。

災害時における避難については傍におられないご家族にとって心配なのは当たり前。現場にいる職員で出来る最善の方法を考えなくてははいけません。

階段に丈夫な板を敷いて車椅子が押せるように。



車椅子をロープで固定し上からスタッフが車椅子を引っ張ります。



かよわい私でも何とか運べそう♪

食料備蓄品の一例です



プログラム

- ・職員、民生委員紹介
- ・栄養科より備蓄の説明
- ・土都楼よりお知らせ
- ・土都楼の近況報告
- ・質疑応答

楽しみのある生活。週1回の移動販売。10月より入居者の方達が直接お買い物出来る様になりました。



施設長より

新型コロナウイルスが5類に変更となり、少しずつ元の生活に戻す為の様々な取り組みについて報告させて頂きました。普段の様子が写真から伺えたことと思いますので、更なる展開をお届けできる機会でもありたいと考えております。地域との交流を目的とし、継続して民生委員の方に参加依頼させて頂いています。津波による『一時避難場所』に指定されている観点からも施設としての役割等を知って頂く機会となりました。避難方法につきましては、ご家族からも幾つかの質問を寄せ頂き、避難体制の最善策を見出すきっかけにもなりました。介護保険法でも大規模災害を想定し定期的な研修や訓練の実施が義務付けされていることから検討会を重ねていく必要があります。縦長構造である本施設では、いかにして上の階に誘導避難するかが重要な論点となっており、法人全体の災害対策委員会とも協議しながら避難体制を整備している経過です。

同地区の住民として微力ながら何かの力になれよう。尽力したいと思っております。地域の方からのお言葉…心強いです!

★次回は、令和7年3月開催予定です。

